



「Café ippo」店長
山崎 綾香 さん

—カフェを経営した経験はありますか。
「初めての経験で不安もありますが、来ていただいた人を楽しんでもらえたらと思います。いずれはスポーツイベントなども企画したいと考えています」
—ノルディックウオークのインストラクターの資格をお持ちと伺いましたが。
「未経験の人には、歩き方などを説明します。日本式やヨーロッパ式など、歩き方やポールにも種類があるんですよ」
—町民の皆さんへメッセージをお願いします。
「お客様に愛される店を目指し、一步一步頑張っていくしますので、よろしくお願いいたします」



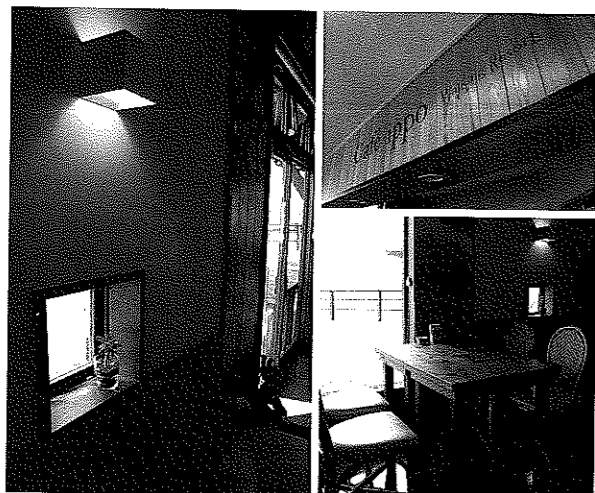
ウェアやシューズなどウオーキンググッズが数多く取りそろえてあります。ノルディックウオークに使用するポールの貸し出しも行っています。



「鳥取県産ハマチの香草パン粉焼きフレッシュトマトソース」。泊漁港で水揚げされたハマチのほか、町内産のハーブやトマトなども使用されています。このほか、ピオーネを使ったスイーツなどもあり、メニューが豊富です。



Café ippo (南谷 573)
☎ 35-6161
(営)11時～19時(火曜定休)



店内は、ぬくもりのある木の机やカウンターなど、訪れた人がくつろげる雰囲気。広々とした窓からは東郷湖を眺めることができます。



ウオーキングリゾートへの「第一歩」
池のほとりにカフェがオープン

カフェ イッポ Café ippo

8月18日、ウオーキングカフェ「Café ippo」が、南谷の旧「レストラン夢広」跡地に誕生しました。

カフェの開設は、「東郷湖・未来創造会議」の提言をもとにした、町の「ウオーキングリゾートプロジェクト」の一環。町の委託を受けたNPO法人未来が、東郷湖ウオーキング情報の発信基地、ウオーカーの憩いの場としてカフェを運営します。

カフェのスタッフは5人。うち2人は、ノルディックウオークのインストラクターの資格を持っており、歩き方などの指導も行います。

オープニングセレモニーでは、主催者を代表してNPO法人未来の岸田寛昭理事長が「東郷湖周辺をウオーキングリゾートとして発信し、全国一のウオーキングの場にしたいと思えます」とあいさつ。続いて、カフェのメニューの企画・開発などにあたる家庭料理研究家の高窪美穂子さんが「食べることがは生きること」という絆を大切に、観光客や地元の人々を大切にする店を目指して頑張ります」と抱負を述べました。

